



©大田区

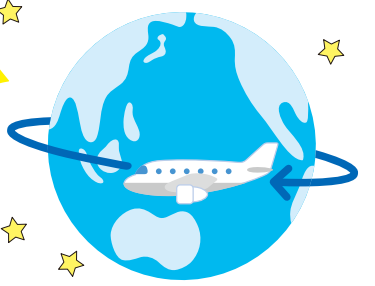
おおたの教育

今号の主な内容

- 1面 ・世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成しています
- 2面 ・令和7年度 大田区学習効果測定結果
- ・子どもと教育長・教育委員の意見交換会を開催しました!
- 3面 ・様々な理由で学校に通えない子どもたちにも給食の楽しさを
・家庭教育コラム
- 4面 ・令和8年度 新入学児童・生徒の就学通知書を
12月中旬にお送りします
- ・本との出会いが未来を彩る10月27日~11月9日
は読書週間
- ・「伊豆高原学園10周年記念感謝祭」

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL 5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成しています



令和7年度 大田区立中学校生徒海外派遣

派遣コースの一つが

オーストラリア連邦に変更になりました!

大田区立中学校生徒海外派遣は、ホームステイの経験を中心に、日本と異なる外国の生活や文化、産業、福祉等を実際に見たり経験したりして理解すること、並びに外国の方々に大田区や日本のよさを伝え、友好親善の礎となること、そして、経験したり学んだりしたことについて、在籍校を中心に広く伝えることを主な目的として実施しており、今年度で38回を数えます。



アメリカ合衆国

本年度は、7月19日(土)から7月30日(水)までの12日間、本区の姉妹都市であるアメリカ合衆国のセーラム市やボストン市に生徒28名を派遣しました。

派遣生徒は、マサチューセッツ州議事堂やセーラムの消防署、ボストン美術館等を見学したり現地の方々と交流したりすることを通して、姉妹都市としての絆の深さを感じながら、歴史や文化を学ぶことができました。また、市庁舎を表敬訪問し、セーラム市長から励ましの言葉を受け、今後の英語学習に対する意欲を高めることができました。



オーストラリア連邦

本年度から派遣コースの一つをオーストラリア連邦に変更し、7月26日(土)から8月6日(水)までの12日間、パース市やジュンダラップ市に生徒28名を派遣しました。

派遣生徒は、現地校の体験入学や、カバシャム・ワイルドライフパークに保護されている動物とのふれあい体験、ロットネスト島における環境学習など、オーストラリア連邦ならではの様々な体験活動を通して、国際理解について考えることができました。現地校では、派遣生徒の学校での生活を助けてくれる「バディ」と呼ばれる生徒と交流を深めました。また、最終日にはオーストラリア西側から東側に移動し、シドニー・オペラハウスやセントメアリー大聖堂を見学しました。新旧両方の建造物の見学を通して、オーストラリア連邦の歴史や文化についても理解を深めることができました。



10月26日(日)に池上会館にて報告会を開催します。派遣生徒がグループごとに現地での経験を英語で伝える予定です。

おおた国際教育推進校の国際交流活動

大田区では、大森東小学校、羽田中学校の2校を、「おおた国際教育推進校」に指定し、英語学習に力を入れて取り組んでいます。7月10日(木)、11日(金)に、セーラム市民訪問団の皆様をこの2校にお招きし、国際交流活動を行いました。

大森東小学校では、児童が「おりがみ」や「昔遊び」、「書写」などの日本文化について訪問団の皆様と楽しく体験活動を行いました。その後、大森東小学校給食人気No.1のカレーライスと一緒にいただきました。また、開校40周年の際に音楽の先生が作詞・作曲した「春夏秋冬(はるなつあきふゆ)」の合唱や「大東ソーラン」を披露し、訪問団の皆様を笑顔にしました。

羽田中学校では、生徒が訪問団の皆様と英語で交流し、インタビューをしたり、日本各地の観光名所について発表したりしました。オープニングセレモニーで歌った、「Heal the World」は、訪問団の皆様も立ち上がり一緒に歌うなど、会場は一体感に包まれました。

今後も、区立小中学校で積極的に国際交流活動を推進し、「世界とつながる国際都市おおたを担う人材の育成」に努めてまいります。



令和7年度 大田区学習効果測定結果

大田区では、平成20年度から児童・生徒一人ひとりの基礎的・基本的な学習内容を把握するため、区立学校の通常学級に通う小学校4学年から中学校3学年を対象に、大田区学習効果測定を毎年実施しています。今年度は、全国学力・学習状況調査に準拠し、問題を「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の2観点に整理して、4月25日(金)に実施しました。

今年度は、小・中学校の全学年の国語、小学校第4・5学年の社会、小学校全学年の算数及び中学校第1・2学年の数学、小学校第6学年及び中学校全学年の英語で目標値を上回りました。

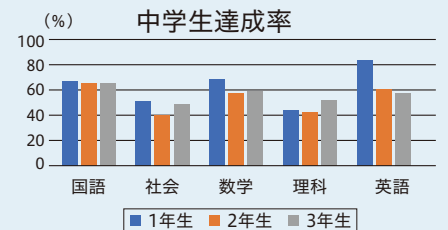
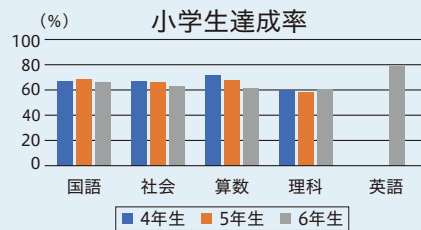
おおた教育ビジョンの「基本方針1 個別目標1 予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成します」では、小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒の理科の目標値を超えた割合が、前年度以上となることを成果指標としており、両方とも、達成率が昨年度から増加しました。一方で、前回のビジョンの対象であった中学校第1学年は、前年度の達成率から19.2ポイント減少しています。正答率が低かった問題は、例えば「蒸散」や「食物連鎖」というような、授業で扱う回数が少なくなりがちな用語を答える問題や、顕微鏡を用いた火山灰の観察など、実際の実験が難しいために、実験動画を視聴することで代替されてしまうことが多い内容が挙げられます。

小学校第6学年のみならず、理科の学習においては、学習者用端末のアプリを活用して重要な用語を繰り返し確認することや、実験の際に手順の意味、実験中の様子を正確に記録することで、児童・生徒の学習内容の理解・定着を図るための授業改善を推進していきます。何よりも、児童・生徒が自然の事象に実際に触れ、親しむ教育活動を大切にまいります。

今後は、その他の教科についても、成果と課題を分析した上で、児童・生徒の学力向上の取組を推進していきます。

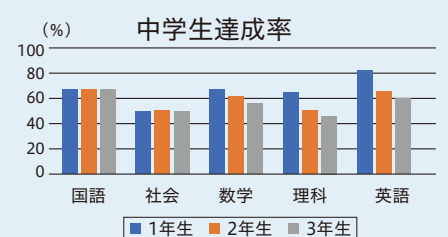
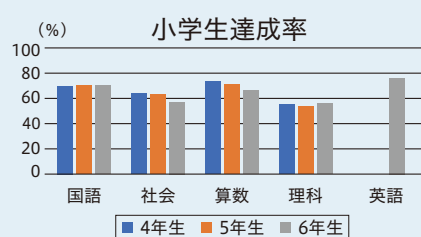
令和7年度 学年別、教科別の達成率(目標値を上回った児童・生徒の割合)

小学生	4学年	5学年	6学年	中学生	1学年	2学年	3学年
国語	66.8	68.7	65.9	国語	67.3	65.8	65.3
社会	67.1	66.1	63.1	社会	51.4	40.9	48.4
算数	71.8	67.8	61.5	数学	68.6	57.2	59.2
理科	59.6	58.1	60.6	理科	43.7	42.6	52.0
英語	-	-	79.8	英語	83.9	60.8	57.2



令和6年度 学年別、教科別の達成率(目標値を上回った児童・生徒の割合)

小学生	4学年	5学年	6学年	中学生	1学年	2学年	3学年
国語	67.3	67.7	68.0	国語	66.4	67.7	67.0
社会	62.8	61.1	58.1	社会	48.4	50.2	49.3
算数	73.0	69.7	64.0	数学	65.7	60.8	56.5
理科	55.3	53.4	55.4	理科	62.9	48.0	44.6
英語	-	-	76.0	英語	81.3	63.6	60.2



問合せ 指導課 TEL: 5744-1435 FAX: 5744-1665

こどもと教育長・教育委員の意見交換会を開催しました!

開催概要

開催日 令和7年3月25日(火)

参加者 区立中学校の生徒会に所属する生徒8名、教育長、教育委員

テーマ どのような学校でどのような学校生活を送りたいか 【①学習について②学習以外の学校生活について】

生徒からの意見に対する教育委員会の考え方をお答えします(一部抜粋)

【意見】 学校内に自習などができるスペースを作ってほしい。

【考え方】 実現に向けて取り組んでいきます。

自習スペースが安心して勉強に取り組むことができる場所となるためには、その場を管理して見守る人が必要になります。教育委員会は、学校とも話し合いながら自習スペースの設置実現に向けて取り組んでいきます。

【意見】 校則や行事、服装などを時代に合わせて見直し・改正するなど、自分たちで考えて話し合って学校づくりを進めることができる時間や環境があるといい。

【考え方】 引き続き取り組んでいきます。

教育委員会では、生徒が主体となって校則などを見直していくよう学校に伝えていますが、学校によって進み具合が異なっています。その差がなくなるよう、生徒の声を聞いた校則の見直しについて学校に対して改めて伝えていきます。



▲意見交換の様子



▲グループワークの様子

上記以外の意見とそれらに対する教育委員会の考え方については、右の二次元コードからご覧ください。



問合せ 教育総務課 経営計画担当 TEL: 5744-1423 FAX: 5744-1535

様々な理由で学校に通えない子どもたちにも給食の楽しさを

大田区教育委員会 教育長 小黒 仁史

大田区教育委員会は、子どもたちが生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、健康教育や食育、基本的な生活習慣の確立を推進しています。

特に学校での給食は、子どもたちの心身の健やかな成長や、食に関する正しい理解や望ましい食習慣を養う上で、生きた教材として大変重要な役割を果たしており、子どもたちが日本の伝統的な食文化はもちろん、世界の食文化についても学べるような献立やおいしくて健康になる献立等、各学校が工夫を凝らしつつバラエティ豊かな給食献立をつくっています。

このように、学校では給食を通じた食育など健康に関する取り組みを行っていますが、人間関係や将来への不安などの様々な要因により、現状、学校に通うことができないお子さまもいらっしゃると思います。お子さま自身はもちろんのこと、保護者の皆様におかれましては不登校やそれに伴うお子さまの生活習慣の乱れなど、日々不安な気持ちを抱えられていることと思います。

区ではお子さま一人ひとりに対するきめ細かな支援等、不登校対策を進めております。令和6年度には、つばさ蒲田教室に通うお子さまを対象として試験的に給食試食会を実施しました。参加した子どもたちは仲間と給食の時間を共有し、楽しいひとときとなったようです。また、大田区では令和5年度から学校給食の無償化を実施していますが、令和7年度からは、つばさ教室にお弁当を持参して通うご家庭に対する給食費相当額の補助も開始しました。

今後も、子どもたちが笑顔あふれ、健やかに成長していけるよう、学校での給食による食育を通じた健やかな成長と豊かな経験の機会を提供していくほか、様々な理由で学校に通えない子どもたちにも楽しい食事

の時間を過ごしてもらえよう、令和7年度もつばさ教室での給食試食会を計画しています。

家族や仲間との楽しい食事の時間を共有することは、健康な身体づくりだけでなく、安らぎや豊かさ、そして幸福感の向上など、心の健康にもつながるものと思います。ぜひご家庭でも、お子さまと「食」を通じてコミュニケーションを深めていただければと思います。

昨年度に続き、今年度もつばさ蒲田教室で給食試食会を実施しました!

令和7年5月26日(月)につばさ蒲田教室にて給食試食会を実施しました。

参加された児童・生徒の方から、美味しかった、また参加したいとの感想をいただきました。

さらに今年度はつばさ大森教室でも試食会を実施する予定です。



【試食会当日の給食献立】

- キムチラーメン
- 海鮮シューマイ
- ナタデココボンチ
- 牛乳

問合先 学務課 保健給食担当 TEL: 5744-1431 FAX: 5744-1536

家庭教育コラム

怒りはニセモノ!? わたしの本音を見つけよう ~今すぐ実践! 正しい怒り方~

Being free代表、心理カウンセラー・コンサルタント 鏝坂 直子

◆親として「怒り」に向き合うことで、 子どもとの関わり方を見直すきっかけに

子どもを育てている中で、「怒り」を感じる瞬間は少なくありません。勉強をしない、約束を守らない、兄弟姉妹とケンカするなど、親としてはついイライラしてしまうことも多いはず。しかし、その怒りがどこから来ているのか、そしてどのように伝えるべきかを考えることが、子育てにも自分の人生にも大切なことなのです。親として「怒り」に向き合い、感情を伝えるより良い方法について考えることは、子どもとの関わり方を見直すきっかけとなります。



◆子どもに「本当の気持ち」を伝える方法

子どもに対して「怒り」を感じたとき、その感情をどのように伝えるかが重要です。「怒る」こと自体は悪いことではなく、むしろ大切な感情です。親がどのようにして冷静に、かつ効果的に感情を表現できるか、その表現方法がポイントです。心理学では、怒りは二次感情と言われています。その下にあるホンモノの感情、例えば悲しい、不安、などを伝えていくことが大切です。一番重要なのは、子どもを存在否定せず、行動修正するように伝えることです。

家庭教育コラムのバックナンバーや家庭教育学習会の情報は、大田区ホームページからご覧いただけます。



◆怒りを「成長のチャンス」に変える

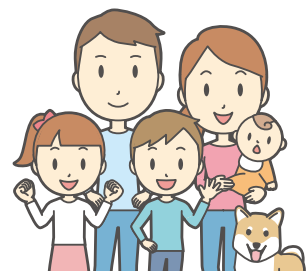
怒りをうまく伝えることで、子どもにとっても成長のきっかけとなります。親が怒りを適切に表現することで、子どもは「どうしてそれが悪いのか」を理解し、次回の行動を改善することができます。子どもも「親の言っていることがよくわかる」と感じ、信頼関係が深まります。

また、親が冷静に怒りをコントロールする姿を見て、子どもも同じように感情をコントロールする力を学びます。怒りを「怖いもの」としてではなく、「自己表現や問題解決に役立つもの」として育てることができるのです。



◆子どもよりも親が先にしあわせになる

「怒りをどう扱うか」を学ぶことは、子どもだけでなく親自身の満たされ感にも役立ちます。子どものコントロールではなく、自分の感情を大切に表現できているという満足感、イライラせず穏やかでいられる心の余裕が、親である自分をしあわせにしていきます。そして、親子だけでなく、夫婦やそれ以外のプライベートでもビジネスでも、効果的なコミュニケーションを取ることができるようになります。親としての学びを実践し、より穏やかな家庭生活を送りましょう。



問合先 教育総務課 教育地域力推進担当 TEL: 5744-1447 FAX: 5744-1535

令和8年度 新入学児童・生徒の就学通知書を12月中旬にお送りします

大田区では通学区域を定め、「家庭、学校、地域」が一体となって子どもを見守り、育てる、地域に根ざした学校づくりを目指しています。そのため、お住まいの住所地の指定校に入学することが原則ですが、事情により指定校以外の学校を希望する場合は、大田区教育委員会の定める指定校変更審査基準を満たすときに、指定校変更の申請を行うことができます。申請にあたっては右記注意事項をご確認ください。

令和8年度新入学児童・生徒の指定校変更申請の受付について、日程等の詳細は郵送する就学通知書をご覧ください。指定校変更審査基準及び指定校変更による受入れを制限する学校については、区のホームページで11月下旬頃から、大田区報では12月1日号でお知らせします。



注意事項

- 申請事由が成立しても、学校施設の収容人数を超える場合は、指定校変更を許可できないことがあります。
- 指定校変更希望者が受入れ枠を超えた場合は、抽選となります。令和8年度入学より、中学校も順次35人学級となりますので、受入れ枠の減少が見込まれます。
- 兄弟が指定校変更した後、弟妹が入学する年に変更先の学校の受入れが制限されて入学が許可できなくなり、兄弟姉妹が別々の学校になってしまう事例が増えています。指定校変更にあたっては、このようなリスクを踏まえ慎重にご検討ください。
- 住所を偽る等、不正な手続きで就学した事実が判明した場合は、入学後であっても転校していただくことがありますので、ご注意ください。

問合先 学務課 学事係 TEL: 5744-1429 FAX: 5744-1536

本との出会いが未来を彩る 10月27日～11月9日は読書週間

大田区立図書館では、子どもたちにたくさんの本と出会ってほしいと願っています。読書の秋は本の世界へでかけてみませんか。



図書館でイベント開催中!

本を読むだけなんてもったいない! 図書館ではおはなし会のほか、工作会、映画会やおすすめ本の展示などたくさんのイベントを実施しています。ぜひ遊びにきてください!



▲イベント情報はこちら



▲おすすめ本の展示情報はこちら

大田区電子書籍貸出サービス

スマートフォン・タブレット・パソコンなどからインターネットに接続して、読書を楽しむことができます。電子書籍で新たな読書体験を!



▲電子書籍貸出サービスはこちら



こんな電子書籍があります

図書館の「かしだしカード」はお持ちですか?

「かしだしカード」を持っていない方や、2年間の有効期限が過ぎている方は、ぜひ「かしだしカード」を作成して、図書館をご利用ください!



問合先 大田図書館 TEL: 3758-3051 FAX: 3758-3625

令和7年度 大田区立小・中学校連合行事(展示会)のご案内

区立小・中学校の「児童・生徒の学習意欲や自己肯定感を高める教育活動」の一環として、小・中学校連合行事(展示会)を下記日程で開催します。児童・生徒が思いを込めて表現した作品を、ぜひご鑑賞ください。

展示会名	展示期間
小学校連合 図工作品展	令和7年10月16日(木)～10月22日(水)
中学校連合 美術作品展	令和7年10月24日(金)～10月30日(木)
小学校連合 書初展	令和8年1月14日(水)～1月20日(火)
中学校連合 書初展	令和8年1月22日(木)～1月27日(火)
中学校連合技術・家庭科作品展	令和8年2月4日(水)～2月9日(月)
特別支援連合 作品展	令和8年2月17日(火)～2月24日(火)

会場: 池上会館1階展示ホール
 開場時間: 午前9時～午後5時
 ※ただし、各最終日は終了時刻が早まる場合がございます。

問合先 指導課 TEL: 5744-1435 FAX: 5744-1665

「伊豆高原学園10周年記念感謝祭」

伊豆高原学園では、改築リニューアル10周年を記念した感謝祭を12月14日(日)に開催します。

感謝祭では温泉無料入浴、体験コーナー、飲食ブースなど様々なイベントを行います。

区立小学校の移動教室に参加された方にとっても「思い出に会いに行く」機会として、当日は伊豆高原学園にぜひ遊びに来てください。



開催概要

■開催日時: 令和7年12月14日(日) 10:30～15:00

■開催場所: 大田区立伊豆高原学園 静岡県伊東市八幡野1154-3 (伊豆高原駅徒歩8分)

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。



▲詳細はこちら

問合先 学務課 校外施設調整担当 TEL: 5744-1706 FAX: 5744-1536

訂正 7月1日号1面の独自教科「おおたの未来づくり」が全面スタートしました! について、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 正 「東調布第一小 × 日本生命保険相互会社 × 大田区防災危機管理課」
- 誤 「東調布第一小 × 日本生命相互株式会社 × 大田区防災危機管理課」

教育委員会の会議録

☆教育委員会の会議録につきましては右の二次元コードから教育委員会ホームページの該当ページでご確認いただけます。

教育委員会の開催予定日

■日程: ①10月24日(金) ②11月25日(火) ③12月25日(木)

■時間: ①②午後2時から ③午後3時から

■場所: 蒲田5丁目37番1号 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室

※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望する方は、あらかじめ下記問合先へご確認ください。

※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。



▲教育委員会の会議録

問合先 教育総務課 庶務係 TEL: 5744-1422 FAX: 5744-1535